



北海道・帯広公益社、家族葬専用別邸を併設した「公益社メモリアルホール」を新築オープン



「公益社メモリアルホール」の式場（左）と外観（上）。ガラス張りで洋風祭壇の背景には十勝の景色を一望



「公益社メモリアル別邸」の式場（左）と外観（上）。洋風祭壇にキャンドルを献灯するスタイルを採用



メモリアルホールの遺族控室（リビング）



メモリアルホールの会食室（左）。厨房を設置しているので、夕食・朝食ともにビュッフェ形式で温かい料理を提供可能



北海道帯広市に本社をおく(株)帯広公益社（社長渡邊一郎氏）は、6月10日、市西部に「公益社メモリアルホール」と「公益社メモリアル別邸」を開設した。これにより、同社の会館は3か所となった。

JR根室本線西根室駅より徒歩12分、これまで同社の会館がなかった市西部のグループ互助会（帯広冠婚葬祭互助会）の会員をはじめとする地域住民の要望に応えるため開設した。

敷地面積8,229㎡、鉄骨造平屋建て、延床面積1,313㎡の規模。駐車場は180台収容できる。式場（150席）、会食室（24席）、遺族控室3室（27畳、25畳、6畳）、導師控室（6畳）、遺体安置室（8畳）、男女別大浴場・サウナ、シャワールーム、喪主室、ベッドルーム、授乳室、厨房などを配した。

同会館の敷地内に家族葬専用会館として併設した公益社メモリアル別邸は、式場（50席）、会食室（12席）、遺族控室3室（30畳、24畳、6畳）、導師控室（6畳）、浴室、シャワールーム、ベッドルーム、厨房などを設置。両会館ともに1日1組貸切りホールとした。

6月7、8日に行なったオープニングイベントでは、石釜ピザ、そば、かき氷等を無料提供するとともに募金箱を設置して全額を帯広市社会福祉協議会へ寄付するチャリティフードコーナーのほか、抽選会、ハンドマッサージも無料体験を実施した。

商圈は帯広市を中心に幕別町、芽室町、池田町、音更町、豊頃町、中札内村、更別村とし、初年度70件、次年度150件の施行を目指す。